

1947**Top Secret Documents on the China Situation****Citation:**

"Top Secret Documents on the China Situation", 1947, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.
<https://wilson-center-digital-archive.dvincitest.com/document/116526>

Summary:

North Korean intelligence on events in the Chinese Civil War.

Original Language:

Korean

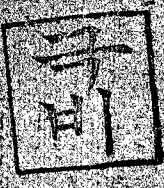
Contents:

Original Scan

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

호 4

비고



五十四年度

공공관계

10.8

의무성

No. 13 2

대수 113

19 49년 7월 22일

1947. 6.22	新解放区中国革命军管会材料	1 — 15
6.15	新解放区中国革命军管会材料	16 — 20
6.17	新解放区中国革命军管会材料	21 — 31
6.18	新解放区中国革命军管会材料	32 — 46
6.27	新解放区中国革命军管会材料	47 — 55
6.25	新解放区中国革命军管会材料	56 — 72
6.30	新解放区中国革命军管会材料	73 — 82
7.4	中国革命军管会材料	83 — 99
8.7	东北解放	100 — 103
8.1	中国革命军管会材料	104 — 115

北朝鮮人民委員會外務局

1947. 6.22	新刊的中央軍國軍管料集	1 — 15
" 5.15	新刊的中央軍國軍管料集	16 — 20
" 6.17	新刊的中央軍國軍管料集	21 — 31
" 6.18	新刊的中央軍國軍管料集	32 — 46
" 6.27	新刊的中央軍國軍管料集	47 — 55
" 6.25	新刊的中央軍國軍管料集	56 — 72
" 6.30	新刊的中央軍國軍管料集	73 — 82
" 7.4	新刊的中央軍國軍管料集	83 — 99
" 8.9	新刊的中央軍國軍管料集	100 — 103
" 8.1	新刊的中央軍國軍管料集	104 — 115

密

局長

一九四七年六月二十二日

中國人民解放戰爭資料集

北朝鮮人民委員會外務部

東亞部 崔

北朝鮮人民委員會外務局

全國編軍(中央軍)戰鬥序列表 一九四一年調製
 陸軍總司令部 總司令 顧祝同 副總司令 湯恩伯 沈漢傑
 東北行營 熊式輝

東北保安司令長官部 (杜聿明) 九四軍
 新六軍
 十三軍
 五三軍
 五〇軍
 七一軍
 九三軍
 道屬部隊

主管駐地洋後

北平行營 李宗仁

十一戰區(孫運璿)

四集田軍(李鼎中)

三軍 蕭耀南 (平漢北段)
 二〇軍 魯崇文 (平漢北段)
 四〇軍 李振清 (石向)

北朝鮮人民委員會外務局

三〇集田軍 李 文

第三戰區 傅作義

晉綏邊區 (卞玉珊)

東北練軍軍 卞馬洋山

武漢行營(程潛)

第一綏靖區

第七綏靖區

十集田軍

三集田軍

武漢警備總司令部 鄧錕 鄧錕 鄧錕

廣州行營 張發奎

八二軍 (朱瑞明) (鄂北)
 七五軍 (柳林明) (鄂北)
 四九軍 (歐 震) (蘇北)
 二〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 二二軍 (傅 翼) (鄂東)
 二四軍 (傅 翼) (鄂東)
 二六軍 (傅 翼) (鄂東)
 二八軍 (傅 翼) (鄂東)
 三〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 三二軍 (傅 翼) (鄂東)
 三四軍 (傅 翼) (鄂東)
 三六軍 (傅 翼) (鄂東)
 三八軍 (傅 翼) (鄂東)
 四〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 四二軍 (傅 翼) (鄂東)
 四四軍 (傅 翼) (鄂東)
 四六軍 (傅 翼) (鄂東)
 四八軍 (傅 翼) (鄂東)
 五〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 五二軍 (傅 翼) (鄂東)
 五四軍 (傅 翼) (鄂東)
 五六軍 (傅 翼) (鄂東)
 五八軍 (傅 翼) (鄂東)
 六〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 六二軍 (傅 翼) (鄂東)
 六四軍 (傅 翼) (鄂東)
 六六軍 (傅 翼) (鄂東)
 六八軍 (傅 翼) (鄂東)
 七〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 七二軍 (傅 翼) (鄂東)
 七四軍 (傅 翼) (鄂東)
 七六軍 (傅 翼) (鄂東)
 七八軍 (傅 翼) (鄂東)
 八〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 八二軍 (傅 翼) (鄂東)
 八四軍 (傅 翼) (鄂東)
 八六軍 (傅 翼) (鄂東)
 八八軍 (傅 翼) (鄂東)
 九〇軍 (傅 翼) (鄂東)
 九二軍 (傅 翼) (鄂東)
 九四軍 (傅 翼) (鄂東)
 九六軍 (傅 翼) (鄂東)
 九八軍 (傅 翼) (鄂東)
 一〇〇軍 (傅 翼) (鄂東)

徐廿級署 薛 岳

第一級靖邊區馮恩伯已調任豫軍司令部

十九集團軍張雪平

三軍 (劉雨邦) (豫北)
五軍 (王統文) (豫中)
九軍 (王欽漢) (豫北)
四軍 (李天爵) ()

第三級靖邊區 王輝武

二十集團軍 夏楚中

第三級靖邊區 (馬治宇)

第八級靖邊區 (夏成)

三三集團軍 (李魁蒼)

八軍 (李長海) (豫南)
七軍 (王長海) (豫南)
六軍 (李長海) (豫南)
五軍 (李長海) (豫南)
四軍 (李長海) (豫南)
三軍 (李長海) (豫南)
二軍 (李長海) (豫南)
一軍 (李長海) (豫南)

鄭廿級署 劉峙

北朝鮮人民委員會外務局

第一級區 胡宗南

三三集團軍 (王仲廉)

三軍 王仲廉 (晉南)
二軍 王仲廉 (豫北)
一軍 王仲廉 ()

三三集團軍 (劉戡)

三三集團軍 (李重鈞)

第四級靖邊區 (劉汝明)

九軍 鍾彬 (豫北)
八軍 鍾彬 (豫北)
七軍 鍾彬 (豫北)
六軍 鍾彬 (豫北)
五軍 鍾彬 (豫北)
四軍 鍾彬 (豫北)
三軍 鍾彬 (豫北)
二軍 鍾彬 (豫北)
一軍 鍾彬 (豫北)

第五級靖邊區 (孫震)

十一軍 趙錫元 (蘇豫邊)
十軍 趙錫元 ()
九軍 趙錫元 ()
八軍 趙錫元 ()
七軍 趙錫元 ()
六軍 趙錫元 ()
五軍 趙錫元 ()
四軍 趙錫元 ()
三軍 趙錫元 ()
二軍 趙錫元 ()
一軍 趙錫元 ()

膠廿級署 余漢謀

川級署 邓錫侯

黔級署 潘文華

三軍 余漢謀 (粵)
二軍 余漢謀 (粵)
一軍 余漢謀 (粵)

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

第一战区(金錫山)

六集团军 王靖国

六军 王靖国 同前南段

七集团军 趙承燾

三三〇 趙承燾 同前南段

八集团军 孫楚

三四三 孫楚 同前北段

第八战区 陶峙岳

三集团军 (趙壽山)

一七〇 高桂白 武國瑞

十七集团军 (馬鳴遠)

九一〇 王晉 孫振湘

二十九集团军 (李鉄軍)

八二〇 馬鳴遠 孫振湘

承德警備總部 (錢大鈞)

八〇〇 馬呈祥 趙德亮

重慶警備總部 (孫元良)

三〇〇 孫元良 呼南壁

台湾警備總部 (陳儀)

七〇〇 陳儀 呼南壁

成都行轅 (張) (賈國光)

本軍分心撤派

西北行轅 (張) (張) (張)

北朝鮮人民委員會外務局

附記

國民政府中央軍之陸軍之... 進行之結果一九四五年七月... 初等軍事學... 表內之執行要點一九四五年... 一九四五年八月以後之變動...

主任 熊式輝

中國東北將介石中長軍正副總指揮系統表 一百五十九日 謝表

司令官 杜聿明 副司令官 鄭洞國 梁華盛

29A 總司令 孫葆 60A 副總司令 鄭洞國 輝

陳南又

白肇年

93A 盧濬良 警 22D 祿澤匯

警 20D 許義濤

警 18D 許義濤

17A 石 覺 4D 駱振韻

史松泉

54D 方宅仁

北朝鮮人民委員會外務局

新 20D 趙世章

陳林達

195D 趙世章

130D 趙世章

116D 趙世章

88D 趙世章

80D 趙世章

91D 趙世章

14D 祿天武

新 20D 李 濤

207D 羅又倫

新 30D 唐守玘

新 30D 李 鴻

50D 潘裕崑

葉 敬

趙振宇

特務員

北朝鮮人民委員會

新 1A

新 6A

11A 53A

52A

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會

北朝鮮

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

北朝鮮人民委員會

高麗

REPRODUCTION OF THE WILSON CENTER ARCHIVES

東北敵軍戰序列表

北平人民日報 1948年11月20日 編

東北行營

東北保安司令部長官部

第一級清區

第一集團軍總司令部

七二軍 八七師 (口軍之口口本級清區之指導之編制之口口口口)

九三軍 警備十八師

警備二十師

獨立第一師 (新兵訓練隊)

交通警備隊第一三總隊 (來往不明)

交通警備隊第二四總隊 (口口)

北平師 (原保安司令部)

東北保安司令部

北平路警備司令部

北平路警備司令部

北朝鮮人民委員會外務局

第二級清區

十三軍 第一四師

五三軍 一三〇師

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

第三級清區

五三軍 二五師

六三軍 八四師

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部
 東北保安司令部
 東北警備司令部

冀東縱隊

四五師
 四三師

東北保安司令部
 第一路四縱隊

北滿路警備司令部
 山海關警備司令部

第十縱隊
 海州指揮部

總指揮部

新第一軍
 新三十三師
 新三十八師

東北縱集
 新三十三師
 新三十八師

特務團
 獨立步兵第三師(師部)

獨立步兵第一團
 獨立步兵第二團

獨立步兵第三團
 獨立步兵第四團

獨立步兵第五團
 獨立步兵第六團

獨立步兵第七團
 獨立步兵第八團

獨立步兵第九團
 獨立步兵第十團

重迫擊砲連
 重迫擊砲連

北朝鮮人民委員會外務局

直轄部隊

人軍兵總隊
 (師部)
 第一大隊 (奉天不明)
 第二大隊 (奉天不明)

第四大隊 (奉天不明)
 第五大隊 (右圖)

警備司令部

警備司令部

獨立通信隊

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

9

3

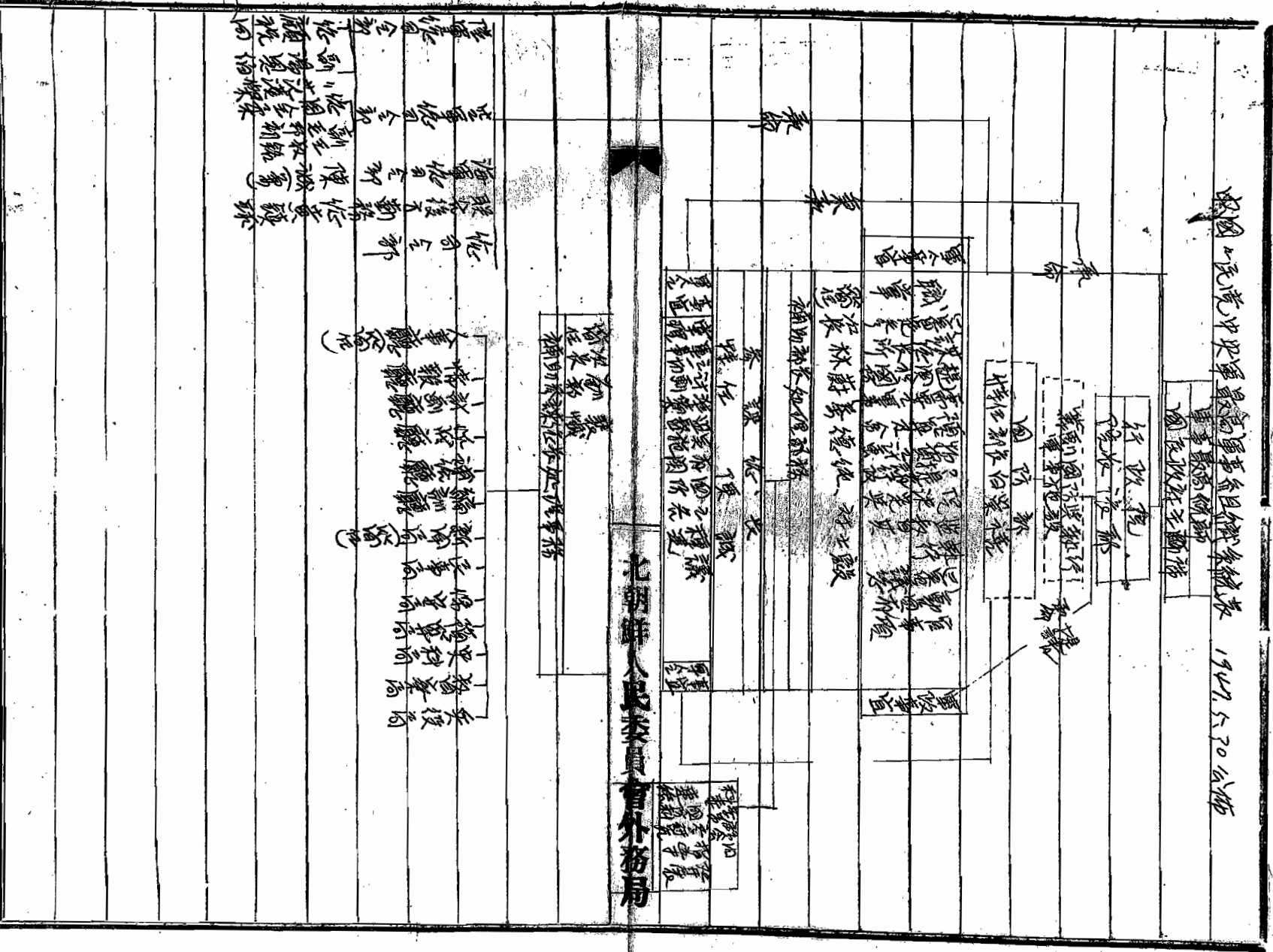
東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團
 東保警備編組之步兵分三團

北朝鮮人民委員會外務局



10

国民党中央军事委员会组织系统表 1949.5.30公布



军事委员会组织系统表

军事委员会
 总参谋长 魏元光
 总政治部主任 廖正兴
 总教育训练部主任 刘峙
 总后勤部长 彭昭贤
 总政训部主任 彭昭贤
 总政训部副主任 彭昭贤
 总政训部第三科科长 彭昭贤
 总政训部第四科科长 彭昭贤
 总政训部第五科科长 彭昭贤
 总政训部第六科科长 彭昭贤
 总政训部第七科科长 彭昭贤
 总政训部第八科科长 彭昭贤
 总政训部第九科科长 彭昭贤
 总政训部第十科科长 彭昭贤

总政训部
 主任 魏元光
 副主任 廖正兴
 第三科科长 彭昭贤
 第四科科长 彭昭贤
 第五科科长 彭昭贤
 第六科科长 彭昭贤
 第七科科长 彭昭贤
 第八科科长 彭昭贤
 第九科科长 彭昭贤
 第十科科长 彭昭贤

总政治部
 主任 廖正兴
 副主任 魏元光
 第一科科长 廖正兴
 第二科科长 魏元光
 第三科科长 廖正兴
 第四科科长 魏元光
 第五科科长 廖正兴
 第六科科长 魏元光
 第七科科长 廖正兴
 第八科科长 魏元光
 第九科科长 廖正兴
 第十科科长 魏元光

总教育训练部
 主任 刘峙
 副主任 魏元光
 第一科科长 刘峙
 第二科科长 魏元光
 第三科科长 刘峙
 第四科科长 魏元光
 第五科科长 刘峙
 第六科科长 魏元光
 第七科科长 刘峙
 第八科科长 魏元光
 第九科科长 刘峙
 第十科科长 魏元光

总后勤部
 部长 彭昭贤
 副部长 魏元光
 第一科科长 彭昭贤
 第二科科长 魏元光
 第三科科长 彭昭贤
 第四科科长 魏元光
 第五科科长 彭昭贤
 第六科科长 魏元光
 第七科科长 彭昭贤
 第八科科长 魏元光
 第九科科长 彭昭贤
 第十科科长 魏元光

总司令部
 主任 魏元光
 副主任 廖正兴
 第一科科长 魏元光
 第二科科长 廖正兴
 第三科科长 魏元光
 第四科科长 廖正兴
 第五科科长 魏元光
 第六科科长 廖正兴
 第七科科长 魏元光
 第八科科长 廖正兴
 第九科科长 魏元光
 第十科科长 廖正兴

总司令部
 主任 魏元光
 副主任 廖正兴
 第一科科长 魏元光
 第二科科长 廖正兴
 第三科科长 魏元光
 第四科科长 廖正兴
 第五科科长 魏元光
 第六科科长 廖正兴
 第七科科长 魏元光
 第八科科长 廖正兴
 第九科科长 魏元光
 第十科科长 廖正兴

军事委员会
 主任 魏元光
 副主任 廖正兴
 第一科科长 魏元光
 第二科科长 廖正兴
 第三科科长 魏元光
 第四科科长 廖正兴
 第五科科长 魏元光
 第六科科长 廖正兴
 第七科科长 魏元光
 第八科科长 廖正兴
 第九科科长 魏元光
 第十科科长 廖正兴

總司令

中央軍陸軍總司令部編制表

一九五〇年九月廿日

副總司令

參謀長

副參謀長

辦公室主任

第一署

第二署

第三署

第四署

第五署

第六署

第七署

第八署

第九署

第十署

第十一署

第十二署

第十三署

第十四署

第十五署

第十六署

第十七署

第十八署

第十九署

第二十署

北朝鮮人民委員會外務局

會外

各設參謀長一人

番	號	主官	架有數	消耗數	現存數
第一軍	軍部	孫平人			
	新八師	李鴻			
	新十師	潘德昆	28,000	5,000	23,000
	新三師	廖輝相			
第二軍	軍部	李鴻			
	新十師	李鴻	32,000	7,000	25,000
	新十師	李鴻			
	新十師	李鴻			
第三軍	軍部	李鴻			
	八七師	李鴻			
	八八師	李鴻			
	八九師	李鴻	30,000	6,500	23,500
第四軍	軍部	李鴻			
	二二師	李鴻			
	二五師	李鴻			
	一九五師	李鴻			
第五軍	軍部	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻	30,000	8,000	22,000
	八一師	李鴻			
第六軍	軍部	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻	28,000	5,000	23,000
第七軍	軍部	李鴻			
	四四師	李鴻			
	五四師	李鴻			
	八四師	李鴻			
第八軍	軍部	李鴻			
	一一師	李鴻			
	一一師	李鴻			
	一一師	李鴻			

北朝鮮人民委員會外務局

中國、改定中央軍校及軍隊編制表 九月廿九日

交通部

軍統司令部

第一總隊 (陝州駐紮)

第一大隊

第一中隊 (揚州、海州、江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、四川、雲南、貴州、廣西、廣東、福建、浙江、江蘇、安徽、江西、湖北、湖南、四川、雲南、貴州、廣西、廣東、福建)

第一中隊 (同左)

第一中隊 (同左)

第一中隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第二大隊 (同左)

第三總隊 (同左)

第三總隊 (同左)

北朝鮮人民委員會外務局

第一總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第二總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第三總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第四總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第五總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第六總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第七總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第八總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第九總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十一總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十二總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十三總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十四總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十五總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十六總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十七總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

第十八總隊 (重慶、萬縣、宜昌)

附註

1. 上述各總隊係由原駐軍改編，其編制與裝備，由各該總隊長負責。2. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。3. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。4. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。5. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。6. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。7. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。8. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。9. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。10. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。11. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。12. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。13. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。14. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。15. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。16. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。17. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。18. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。19. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。20. 各該總隊之編制與裝備，應由各該總隊長負責。

付物

(印)

一九四七年五月二十五日

3026

48

6.20

贈錄江對岸，中國人民軍
非法行為調查

北朝鮮人民委員會

東亞部 崔英

北朝鮮人民委員會外務局

PHOTOGRAPHED AT THE NATIONAL ARCHIVES

18

光武二十三年庚申の不法射撃

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

船三名の不法射撃に、不法越境に、朝鮮人婦七人の射撃に

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

朝鮮側を向けて、船十五隻の不法射撃に

五、朝鮮船の不法射撃に

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

一九〇七年七月十七日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍

北朝鮮人民委員會外務局

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

中東軍の西朝鮮共産軍の侵入を警戒す

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

北朝鮮人民委員會外務局

一、北朝鮮人民委員會外務局の報告

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

我境の三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

各郡別不法行為統計表 1947.5.7日

郡名	不法越境	不法渡航	不法渡航回数	取押債案	備考
江島郡	六	二	一	一	我隊管理、地民1名早給 生色各件の物品奪去
磐山郡	一	(取押生1名不法渡航者)			
沼原郡	一	四			取押生1名早給1名
朝川郡				一	
義州郡		一	二		我隊1早給隊員5名仕立給 人民隊物品奪去
龍川郡	一	一	五		我隊協同早給2名 物品奪去2回
計	九	二	七	二	

20

北朝鮮人民委員會外務局

21

秘

北朝鮮人民委員會

中華人民共和國政府改組外黨派別

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

原有の復興・CC法西斯(ルンペン)分子外の官僚階級の改進黨系、保
皇黨研究系出身の民社黨、國家主義の青年黨の新人會の中心

一 改進黨系

蔣介石の張群を以て行政院院長として出任した。歴史上
の北平難関を以てして企圖した。今次は已往の傾向は、改進黨
系を蔣介石独裁統治下の行政権を執掌する思想から孔、宋
を代表する財政権を掌握した。改進黨の宋子文を以て
職とした。改進黨系張嘉璈(公権)の宋子文の貝祖詭を
代表した。中央銀行總裁を任じた。田大業の直接經理人として
現れた。改進黨系を以てして北平軍閥時代の糧粟、金城、中南、
大陸の北方銀行の領導人の吸収した。南京政府の成立以後、
南方銀行の附庸として吸収した。交通銀行の吸収した。改進黨

北朝鮮人民委員會外務局

系をCC兩陣の比から優勢を保持した。行長は錢新之
と又改進黨系を接近した。人物の吸収した。地方銀行の吸収した。改進黨
系を強有力に集団の吸収した。

今次國府委員中の陳耀德(光南)も亦是孔系の改進黨系の
田大業の經理人の吸収した。

蔣介石を張公権を中央銀行總裁とした。陳光南を國府委員
として吸収した。偶然に孔系から二名を以てして孔、宋を買賣する代表
として孔系が多量に宋國人の好む。これは信用を以てして吸収した。吳
蔭の吸収した。張陳を東來早の親美分子の吸収した。蔣介石を
為した。外債を以てして選挙の吸収した。

孔系 王世長、財長、王鴻鈞を以てして改進黨の分子として。其
外の入翁文瀾、王重五、莫德惠、總務長、谷正倫、雷震等

REPRODUCED FROM THE NATIONAL ARCHIVES

五、改組後、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

北朝鮮人民委員會外務局

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

RECORDED IN THE NATIONAL ARCHIVES

吳鼎昌 張公權 吳敏機 熊應武 沈鴻烈 陳儀等

二 民社黨

民社黨之成立 國泰社會黨之革命精神之民社黨政治之合組
 此此之 の手党の前身也 此此清時代の保皇党の 保皇党
 元清末戊戌政変時の 康有物 梁啓超の 領導此此の 此此
 後 康有物は 是此の保皇党を 主張此此の 國号 張勳の 復辟此此
 吳此此の 康有物の 党羽也 海此此の 革命党は 及此此の
 蔣介石の 南京の 及 勤政黨を 遂に 此此の 海此此の 民
 主黨 政變を 組織此此の 日此此の 現任 蔣政府の 國務委員也
 但 是 于 此 行政院 政務委員 李 大 明 此 領 導 此 之 党 也 康 有
 物 外 梁 啓 超 之 保 皇 党 此 于 此 之 保 皇 党 之 復 辟 此 之 民 主 党

北朝鮮人民委員會外務局

是地獄也 此此の 研究系を 成此此の 袁世凱を 補助此此
 孫中山を 及此此の 革命を 鎮此此の 國公を 解散此此
 二此此 袁世凱を 高制を 実行此此の 梁啓超を 此此の 春燧を
 擁護此此の 袁世凱を 討此此の 日此此の 段祺瑞を 擁護此此の 孫中山を
 及此此の 第一次世界大戦の 革命此此の 主張此此の 以後の
 此 北 洋 軍 閥 の 混 戦 の 不 断 の 春 燧 此 此 の 日 此 此 の 研 究 系 の 友
 勤 軍 閥 の 討 伐 此 奮 争 此 此 の 民 社 党 の 今 日 の 領 袖 之 張 君 勳
 原 名 之 張 嘉 森 此 此 の 張 嘉 森 此 此 の 日 此 此 の 張 君 勳
 此 此 研 究 系 の 梁 啓 超 此 此 之 追 隨 此 此 之 現 在 之 梁 啓 超 の 傳 統 是
 継 續 此 此 の 傳 皇 傳 袁 傳 殷 之 後 の 傳 蔣 是 此 此 之 日 此 此 之 張 君
 勳 の 傳 党 也 湯 住 心 (又 湯 壽 鏡) 之 研 究 系 湯 住 龍 の 此 此 の 表
 世 凱 時 代 の 湖 南 督 軍 也 抗 戰 時 期 の 湯 住 心 此 此 の 漢 奸

の一群の及動知識分子、漢奸、の官僚集團と二歴史の二母質と
 正、醜惡無恥の、日共の青年党の、人全部國民党の、買収
 後、青年党の、新中央委員會の、出現は、其の、の、新中央委員
 會の、人物は、自身の、曾孫、右衛門、李璣の、命を、其
 精進の、偽政社の、参加は、見ると、其の、承認は、の、新中央委員會
 の、人物は、其の、背後の、國民党、復員隊に、支持は、其の、の、平州
 青年党の、復員隊の、同様の、の、の、復員隊の、青年を、及、映、其
 青年党の、の、の、醜態は、其の、社党中、湯蘇鉄派の、限、其
 湯蘇鉄派、及、其の、其の、其の、北、其の、其の、其の、

北朝鮮人民委員會外務局

五月廿七年六月十八日

中國與外國間之締結

條約文

北朝鮮人民委員會

外務省東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

中國外外國商의 締結한 條約集

一八四七條 清政府의 英國商의 南京의 丁三條 條約은

締結한 條約이다. 이 條約은 天 南京條約의 條約이다. 丁三條 條約은

一 清政府는 賠償金 二百萬兩을 英政府의 納付한 條約이다.

二 香港는 永遠의 英國商의 割讓한 條約이다.

三 廣州, 廈門, 福州, 寧波, 上海, 通商口를 開放하고, 英國人

民의 家族를 다리고, 居住하고, 領事館을 設置한 條約은

許한 條約이다.

四 英國商의 入國한 規定의 條約은 依하고, 納稅(稅則)의 法의 條約은

規定한 條約이다. 中國商人은 早의 各地의 運搬한 條約은

稅則을 通過한 條約은 二重課稅를 施한 條約이다.

一八四四年의 美佛兩國의 英國의 中國의 南京條約 締結을 機會

北朝鮮人民委員會外務局

은 北朝鮮의 利益均等을 要求한 條約은 清政府는 在 美國의 佛蘭西

의 對北朝鮮의 中美條約, 中佛條約을 締結한 條約이다. 이 二

條約은 締結한 條約은 美國의 佛蘭西는 中國의 領事裁

判權을 確立한 條約이다.

一九五八年三月 英佛聯合軍之 北方大港之 侵入之 砲台之 攻陷
 之 後 之 日 清政府之 請和之 求 之 天津條約之 締結之 後
 天津條約之 署名 之後 之 日 北京之 日 條約之 交換 之 日
 之 期 比 准 之 日 規 定 之 日 之 日 一八五九年 英佛公使 之
 北京之 日 之 日 清政府之 公使 之 日 之 日 軍艦 之
 之 日 拒絕 之 日 之 日 英佛聯合軍 之 日 之 日 天津 北京 之
 陷落 之 日 清政府 之 日 英佛 之 日 請和 之 日 要求 之 日 北京條約 之
 締結 之 日 之 日 (一八六〇年)

北朝鮮人民委員會外務局

當時之 露西亞之 中國之 英佛 之 戰爭 之 日 是 臨時 之 日
 之 日 調整 之 日 之 日 調停 之 日 之 日 之 日 之 日 清政府 之
 強要 之 日 中露 天津條約 中露 北京條約 之 締結 之 日 之 日 之外
 之 日 清政府 之 英佛聯合軍 之 日 北方 之 日 之 日 餘暇 之 日
 之 日 黑龍江 以北 之 中國領土 之 日 之 日 領地 之後 清政府 之 強迫 之 日
 之 日 受 環 繞 之 日 之 日 之 日 之 日 利益 之 日 之 日 承認 之 日 之 日
 天津條約 之 日 主要 之 日 內容 之 日 一、
 一、 南京條約 之 日 能 條約 之 日 有 期 之 日 之 日
 二、 中法 之 日 登州 之 日 台灣 之 日 潮州 之 日 瓊州 之 日 商埠 之 日 之 日
 三、 英國人民 之 日 訴訟 事件 之 日 人命 財產 之 日 論 之 日 之 日
 領事 館 之 日 之 日 處理 之 日 之 日
 四、 英國人民 之 日 中國 內 各地 之 日 游 歷 之 日 之 日 長 江 流 域 之
 各 港 之 日 英國 商船 之 日 自由 之 日 通 商 之 日 之 日
 五、 英國 之 日 耶穌 教徒 之 日 天主 教徒 之 日 自由 之 日 傳 教 之 日 之 日
 六、 四百 萬 兩 之 日 賠 款 之 日 之 日
 七、 關 稅 協 定 之 日 承認 之 日 之 日 (百 萬 之 日) 中國 政府 之 日 各 國 之 日 承認

是日訂正 國稅之增加若干也。當時佛蘭西之締結此條約之
 大略 中英天津條約以外之條約中之 佛蘭西之 北平惠國
 此之承認也 佛蘭西軍費之 二百萬之賠償也。

北京條約の内容是：

- 一、天津條約之 繼續的之 有知也。
 - 二、天津之 南華之 開放也。
 - 三、九龍之 半島之 英國之 領土之 割讓也。
 - 四、英佛軍費之 損失費之 一百萬之 賠償也。
- 中國天津條約之 主要也及之 露國之 中國之 自由通商
 領事館之 設置也 許諾也也也。
 中露北京條約之 北平中心之 內容也 烏蘇里江以東之
 土地也 露國之 割讓也。

北朝鮮人民委員會外務局

愛爾條約之(一八五八年)日韓條約(一) 主要內容之(一)
 一、黑龍江以北之 露國領土也也。
 二、黑龍江、烏蘇里江、松花江之 中露兩國船舶之 航行也而
 國人民之 貿易也 許諾也。

中國の日本の敗北後、一九四五四年、李鴻章は日本
 の敗北の下の條約を締結するに主要な内容に、以て
 以下

- 一、中國は朝鮮を独立國家と承認し、朝鮮を~~廢~~除す
- 二、遼東半島(鴨綠江の)、鳳凰城、海城、營口及び(台湾全島
 及び琉球群島)を日本の割譲地とす
- 三、中國は日本の軍費三億兩を賠償地とす
- 四、沈陽、重慶、蘇州、杭州を通商港とし、日本は、~~割譲~~
 地の領事館を設置する
- 五、本條約の履行を保障し、故に日本の多分海軍隊
 を威嚇するに占領地とす

北朝鮮人民委員會外務局

一九〇二日 清政府新強の 諸和條約の 十二條は 辛丑條約の 締結の 二 主要内容は 此の如きなり

一、賠償五千万兩の 賠償を 一九〇二年早自一九〇四年に 毎年平均二千五百万兩に 支払はれ 本願の利息を 合はれ 總額十億兩なり

二、中國政府は 各國使館の 境界を 區劃し 使館境域内之 人全部公使に 管理し 中國人は 居住し 他國之 公使館を 保護し 爲し 使館境域内之 護衛兵を 設置せしむ

三、中國政府は 大流砲台を 北京の 海濱間に 設け 交通上 支障の 爲し 砲台を 設け 此の如きなり

四、各國之 北京、天津の 諸城壕間の 軍隊を 駐せしむるは 北朝鮮人民委員會 外務局 加入は 禁止し 違反者に 死刑の 處せらる

五、各省督撫又武官は 有司各官之 萬若外國人は 傷害し 或は 以て 彈丸を 射し 永久に 撤職し 復職せしむる

北朝鮮人民委員會 外務局

一九二五年 日本之 中國政府之 中國之 滅亡之 約
 他條之 提出之 理由之 主要之 內容之 五部
 分
 一 〇三 〇四 〇五 〇六 〇七

第一號 第一號 中國政府之 日後 日本政府之 租界政府

此之 協定之 承諾之 獨逸之 山東省之 國境 條約

或之 其他關係之 依之 中國政府之 財產之 所有之

一切權利 利益之 讓與事項 自處令之 其承諾之

第三號 中國政府之 且之 山東省內外 此之 沿海一帶之

土地之 右島嶼之 等之 項目之 均論之 他國之 讓

與或之 租借之 許之

第三號 第三號 日本人民之 南滿洲 以 東部 內蒙 在 此 之

之 工商業之 改造之 之 必要之 建邦或之 耕作之 也

北朝鮮人民委員會外務局

之 重要土地之 租借權或之 所有權之 認可之

第六號 中國政府之 中國南滿洲 以 東部 蒙在 此 之

之 政治 財政 軍事 各顧問之 聘用之 此 之

之 日本政府之 商議之 許之 第七號 中國政府

之 官吏 鐵道之 管理委員之 日本政府之 委之 二年

限之 本條約之 捺印之 日 一九二五年 三月 號

第三號 第一號 兩國締結之 互相協定之 條約 適者之 職令之 也

之 漢治洋公司之 兩國合作之 許之 同時之 日本

政府之 同意之 該公司之 所有之 權利之 一切權利 產業

之 獨斷權之 該公司之 許之 該公司之 許之 獨斷權

之 許之

第四號 中國政府之 中國之 所有之 沿岸 港灣 島嶼 之 也

〇 是 他 國 の 讓 渡 以 租 借 等 の 形 式 を 採 り 承 認 せ ば 可
 第 五 款 第 一 款 中 國 中 央 政 府 内 の 比 三 有 力 能 日 本 人 等 以
 軍 事 政 治 刺 政 等 の 顧 慮 等 以 聘 用 せ ば 可 第 三 款 從 來 中
 日 兩 國 の 警 察 事 件 の 屢 次 吃 以 以 摩 擦 以 讓 渡 以
 不 大 能 以 是 等 地 不 以 警 察 事 件 中 日 合 作 以 事 務 等
 取 得 せ ば 可 或 是 以 以 地 不 以 警 察 事 官 署 以 以 日 本 人 是
 多 數 以 聘 用 以 以 中 國 警 察 機 關 以 改 造 以 貢 獻 以 以 以
 第 四 款 日 本 以 以 一 定 數 量 以 中 國 以 以 軍 事 以 以 一 軍 用 品 以
 半 數 以 以 日 軍 以 以 一 軍 用 品 以 採 取 以 以 以 或 以 中 國 以 以 日 本 合
 作 以 軍 需 以 以 場 是 設 置 以 以 日 本 技 師 以 以 聘 用 以 以 日 本
 材 料 以 以 以 以 以

北朝鮮人民委員會外務局

100

一九三五五月二十九日 天津駐屯日本軍は 參謀長福井等は
 派遣の 中國當局の 東北義勇軍總司令鄭洞國を 援助することを
 北平軍司令部理事長何應欽の 許可の 鄭洞國を 要する提議
 があり 陸軍省 鋼筆入閣の 萬若 要する 援軍の
 許可あり 自由行動を 採擇の 報復の 許可あり 許可あり
 天津駐屯 日本軍司令部梅澤は 許可強の 態度を 許可あり 二
 結果の 六月九日 何應欽は 梅澤前哨 秘密協定の 締結の
 あり 何梅協定の 許可あり
 の 協定は 許可あり 秘密を 許可あり 國民黨政府は 敵の 正統公布を
 許可あり 二 許可あり 一 許可あり 否 許可あり 二 許可あり 各方面の
 材料の 依り 二 後 事實の 証明の 依り 中國方面の 許可あり
 履行の 許可あり 二 許可あり 各 項の 許可あり

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、 前北省及北平、天津両市の 國民黨上層を 取消せり。
- 二、 前北省の 駐屯軍を 東北軍に 中央軍の 撤退せり。
- 三、 前北省を 主席 于學忠、北平、天津両市場を 撤去せり。
- 四、 北平軍司令部政治部を 撤去せり。
- 五、 前北省の 反日運動を 取消せり。

完

一九四六年十月四日の米將商約を締結せられたる條約の主要内容は
 一、米國人民の中國領土内に入るに對する待遇を平等にすること
 二、米國人民の身體財産の安全の好むに對して中國は
 三、米國人民の居住、倉庫、工場、商店及び其他業務場所（一切の商業施設を含む）を中國人民が參觀するに許すこと

二、米國人民の中國の採礦の權利を尊重すること
 三、中國の所有の礦山のうち米國人民の採掘すること
 四、中國の領海、内河の米國艦隊の通過を妨げず、一切の船舶を貨物載運の乗客（武器載運の軍人は別）を運ぶに自由を航行すること
 五、上海、廣東、天津等飛行場は

北朝鮮人民委員會外務局

五、中國の領土内の上空を飛行するに對して米國飛行機（民用、軍用を別）は自由を飛行すること
 六、其他の米國人民の自由を行使するに對して中國は

一、米國人民の飛行者に對して米國方面の交付する單據を尊重すること
 二、米國人民の中國の駐軍の權利を尊重すること

一九四六年八月三十日の米國他人民の權利を尊重するに對して
 一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と

一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と
 一九四九年三月の將政府と

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

17.825-3.557 2,543 17,358
18.128 2,734 2,177

北朝鮮人民委員會外務局

南朝鮮人民抗爭支援金捐地區別總集計表										
地區別	地區別	戶數	人員	現金	米	別是文	手巾	麻袋	雜品	備考
牡丹江	七街	二五三七	五,五五〇	八,五五〇	五〇件	四〇一	六	八	件	白米 九二九 小米 八五九
(市外)	八街	一五七七	七,五七八	二,三三〇	八二五	二〇五	二八三	六		白米 九二九 小米 八五九
(市外)	二街		三,四二〇	四,三三七	一九〇	二五三	二五			白米 九二九 小米 八五九
小計	五街	四,〇〇四	二,五八八	二,三三五	六二五	一〇八八	六八九	九四		白米 九二九 小米 八五九
新海縣	四街	二,八二八	二,七八五	二,三三七	二九九	三三五	七四四			白米 四三三 小米 二四七
北移移縣	九		二,五五七	二,五〇六	六八五	一三八	三九三			白米 四三三 小米 二四七
南移移縣	八		二,五五七	二,七三九	七三二	三〇二				白米 四三三 小米 二四七
房安縣	三	三,五九九	七,三六八	二,四二五	一九四	九三四	文四七		三三	白米 四三三 小米 二四七
合計		一五,二九	三,六六二	三,六六二	一,〇八五	一,〇八五	一,〇八五	九四	三三	白米 四三三 小米 二四七

牡丹江地區支委會
(一九五〇、四、三)

43

南朝鮮人民抗留支援金品集計表

住所	姓	姓名	戶數	人員	現金	米	紙	手巾	麻袋	北朝鮮人民委員會外務局	
										支	收
新海縣		新安區	一六四七	七五八	三九八	六九	三片	四六	枚		
		名海區	四八八	二五八	一、二四〇	三五八	一九四	二五			
		山市區	二二二	一五九	二、〇五〇	八〇					
		海林區	二二〇	一五五	八五三	八	一〇八				
小計			二、二二二	一、五九一	三、三三六	一、〇八	三三五	七四			
北穆後縣		八通通區	二二〇	一五五	八五三	八	一〇八				
		梨樹鎮區	四五三	三六三	〇						
		曹興村區	五七〇	一、〇七五							
		平盛村區	五五七	一、〇五〇							
		福祿村區	二四〇	一六〇	五						
住所											
北穆後縣		智米村區	一九五	二四〇	月	自五三七					
		更新村區	二二八			自三三七					
		成德村區	九五	二、三三〇		自三三三					
		三道威子區	九〇	九三三		自三三三					
小計			二、五五七	三、四〇六		自四三三					
南穆後縣		蘇子石區	四九八	七、五九九		自四三三					
		興源鎮區	四五三	五、三三〇		自二〇三					
		泉眼河區	四九五	四、二七〇		自八五					
		穆子橋區	四〇一	七、五三〇		自四五六					
		下城子區	五五九	四、二二〇		自一〇七					
		大城廠區	〇	〇							

住所		團體名及姓名	戶數	人量	現金	米	布	手巾	麻袋	其他
小計	太平村區			一三八	四九五〇					六〇〇
	牛心山區									
小計	寧安縣									
	第一區		二〇七	五〇〇	四九一五	三九〇	一九九			七八
	第二區		一〇八〇	五〇〇〇	四一四一	五二三六	四八七	二九五		四五
	第三區		一四二	七三八	二四〇〇	七〇	五七	一五三		
小計	牡丹江市									
	西安区		三五九九	七三六八	八四三九	九〇	九〇	二四七		一二三
	共榮街		三九五	一四三〇	一五五〇	〇	〇	〇	〇	
	西安街		六七二	二五二八	二五二八	〇	〇	〇	〇	
	共觀街		三五二	一五五〇	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	
	立新街		一八四	七三五	七〇〇	〇	〇	〇	〇	
	愛民街		六〇	二八八	三三〇	九三九	一八〇	一〇	一三	
北朝鮮人民委員會外務局										
	愛民街		八九	三三	六九五	高一一八	〇	〇	〇	
	鐵峯河區		三三五	二七五	一八四二	〇	〇	〇	〇	
	鐵峯河區		三五	二五	二五〇	百九二	六二	一四	六	
	四道峯子		五四二	二二八	二四七二	〇	〇	〇	〇	
	謝家區		七一	二九四		〇〇	〇	〇	〇	
	謝家區		二二四	一三五	一八九〇	一六八五	五二	四		
	謝家區		四二	一八九		一九				
	海濱村		二〇八	八五四	八四九〇	二二三	七二	七二		
	東村		一〇五	五〇七	四四五	二三四	一四	四三		
	橋頭村		八四	三三五		三三八				
小計			四〇四	一六三八	七五八〇	一八九	七五	二六	九五	

PHOTODUPLICATION SERVICE
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

45

住所		団体名	参加人数	現金	米	布	手巾	被褥	衣類	其他
牡丹江市	人民新报社	70	2,600							
"	市政府	13								
"	職員局									
"	醫藥業者	28	2,470							
"	宗教団体	4	73							
"	老人會員局	144	1,940							
"	酒初会 張君	3	57							
"	飲食店 孫君	5	45							
"	公安中隊	50	1,300							
"	隊員 1 局	2								
"	崔 黃淑	2								
"	崔 慶雲 被褥生	2	1,200							
"	張 慶雲 同上	2	1,200							
"	青年聯合會	23	350							
"	朝鮮人 趙君	3	350							
"	趙君 同上	4	500							
"	趙君 同上									
牡丹江市	西体名士	1	1							
"	保安會 金君	1	1							
"	街頭 趙君	3	28	6,800						
"	(趙君 同上)	2	62	2,500						
"	聯中學校	2	62	2,500						
"	職員 趙君									
"	朝鮮第一小隊	1	200	2,038						
"	趙君 同上									
"	聯合會 趙君									
"	趙君 同上									
"	牡丹江市 趙君	1	7	7,250						
"	八五隊 趙君									
"	朝鮮人民主聯									
"	趙君 同上									
"	市場 趙君									
"	趙君 同上									
綏陽縣	綏芬河			6,250						
"	保安隊 趙君									
"	趙君 同上									
小計		273	44	30,657	1,052					

人 丹 介 件 枚 枚

49

30/6

(秘)

一九四七年九月三十一日

米國對中政策

英米關係

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部產英

北朝鮮人民委員會外務局

米國の対中政策

北朝鮮は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。米英は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。

北朝鮮は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。米英は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。米英は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。

北朝鮮は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。米英は、北朝鮮の建設に、米英の援助を必要とする。

50

3

一、米國の中國の探礦の權利を奪つた。中國の
石油の探査の地は米國の海探査の地也。

二、中國の關稅の内地稅を以て、米國の最惠の特遇を以て、
中國の領海、内河の米國の旗の米國の船舶に一切の船舶の貨
物輸送の業を（或る航運の個人を包含）を不問の自由を航行の
所の港の好岸の自由を保障する也。

三、中國の内地の上海、廣東、天津等の飛行場の自由を
自由の飛行の地とする也。上海、廣東、天津等の飛行場の自由を
上海、廣東、天津等の飛行場の自由を

四、其他の米國の民の中國の自由の兵隊の各の權利を以て、
米國人の飛行者の米國方面の交付の單據を以て、米國の
米國の中國の駐軍の權利を以て、將來米國の協定の題を以て、

北朝鮮人民委員會外務局

由米國人民委員の米國の自由の兵隊の各の權利を以て、
印の飛行の自由を以て、米國の上海の自由を以て、
着陸協定を以て、米國の上海の自由を以て、
協定の題を以て、

米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、
米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、

米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、
米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、
米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、

米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、
米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、
米國の資本の經濟的進攻の以て、米國の上海の自由を以て、

米國懷之 從前此意也 權力之所在 可及的友誼的競爭의 必也
尊重此의 必也

그런데 米國資本家는 이 英國親善을 以 爲 己의 利로 行하되
달라지나 米國人은 中國人을 以 爲 己의 財源을 汲汲히 求
하되 好意는 無也 中國當局이 英國親善의 中國의 水路航行을 禁禁하
는 故에 米國의 資本은 中國當局의 許後에 在는 其의 故에 이
의 故에 米國의 態度는 英國을 以 爲 戰後 對中政策을 若手 變
更하지 欲하되 만 勿의 故에 是로 一 元의 及 後 辛卯 年에 英國은
이 對中政策을 以 平 復化 故에 米國의 對中 反對의 態度는 取하
되 勿也

南元 英國의 支 故에 回復되 勿也 英中 親善을 重復南을 使
命을 故에 藉 介 在 此 對中 英國 首相의 人의 代辦者也 此 之 理

北朝鮮人民委員會外務局

이 北元 一은 三은 四의 大 使 三은 四 理由는 勿 論 三은 四
의 使 命을 遂 行 故 此 是 故 也 此 勿 也

新任 英 大 使 三은 四 一은 三은 四 是 也 南 京 新 派 代 表 者 大 會 三은 四 以 此 爲
의 故 中國의 對 英國 國家 代表 者 大 多 數 是 故 是 也 三은 四 今
은 是 處 地 三은 四 是 也 三은 四 義 務 也 三은 四 是 也 改 進 三은 四
은 是 故 也 三은 四 是 也 三은 四 是 也

英國人들은 國民黨指導層의 以 是 以 爲 獨立의 英 使 三은 四
被 迫 三은 四 故 作 三은 四 英國 政府 代 表 者 是 也 排 水 量
三은 四 噸 巡 洋 艦 三은 四 水 艦 三은 四 以 海 岸 巡 邏 隊 三은 四 八 萬 軍 兵 數
軍 艦 是 中國 的 讓 渡 故 也 三은 四 言 明 三은 四 三은 四 遠 東 艦 隊 三은 四
中國 當局 三은 四 協 約 三은 四 國民 黨 軍隊 三은 四 北 支 輸 送 三은 四 三은 四
三은 四 三은 四

此等之也 中國軍當局の 奉天港の港に施設を 利用する事は 許可され
 ず 以前 防務上之 中國海軍の 入る港を 訓練の地として 承諾せられたる
 五回及五米の 商業界の 代表者等が 重工業及 輕工業の 建設に
 関する 代表者等が 英國 通商使館の 中國に 到達したる 意義
 は 英國對南之 大勢力の 現れなり

「也」云々 第一 中國の 通商の 自由を 視察する(可徳留田)の 立場
 あり 英國は 中國對外貿易の 従前地を 回復する 爲めに 莫大の 努力
 を 爲すなり 報せられたる。 英國使館の 新市場を 獲得する
 爲めに 貿易上、 經濟、 財政上 諸條件を 研究せられたるに 中國の
 前之 現況あり。 英國の 團長は 是れを 五回及五米 南米の
 中國對外貿易の 大部分を 英國の 手中に 集集中の 點に 歸せられたる
 自己の 利益を 擴張せられたる

北朝鮮人民委員會外務局

中國航路界の 地位 英國の 利益を 保障せし 爲め 奉天港に 美
 國大特許を 與へた 點を 反對する 爲め 英國航路使館の 中國に 莫
 大の 影響を 與へた 復舊の 爲め 中國航路界の 地位を 非常助成
 する 爲め 五回及五米の 中國に 到着せられたる
 五回及五米 下米 船運を 早く 中國市場の 地位を 英國商路に 並行せ
 る 爲め 英國西、 瑞典各國 商路を 早く 恢復せられたる 爲め 英國
 の 利益を 最近の 爲め 中國市場を 獲得する 爲め 極大の 影響を 與へた
 點あり 英國は 下米 船運の 對中貿易上 地位を 復舊する 爲め
 努力を 爲すなり 此等之 點あり 英國の 利益を 保障せられたる
 英國は 對中輸出を 恢復せられたる 爲め 中國の 外國輸出上
 の 地位を 恢復せられたる 爲め 英國の 利益を 保障せられたる 爲め
 英國は 中國の 利益を 保障せられたる 爲め 英國の 利益を 保障せられたる

二日 英國地位回復之希望多矣 分略可 英國之權利地位
 條件之進新以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 條件之進新以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之

二日 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 條件之進新以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之

北朝鮮人民委員會外務局

二日 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 條件之進新以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之
 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之 國際之利益 則可以見之 中國之利益 莫不隨之 予者 尖銳之

50

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會



2012

國民會議中央調查部
外國情報部
及時期別別動隊之主要情況

北朝鮮人民委員會外務局

陳重初 趙英

北朝鮮人民委員會外務局

国民党中央調査統制部の沿革は在野時期中の国民党の主要情況
 国民党中央調査統制部の前身は清室復元の国民党中央党務調査科の附
 設科としての軍事委員会調査部の一科として設けられた。この調査科は終
 戦前日本が侵略を遂げた後、国民党の復讐を期すことになり、二特委に
 附設された。国民党の復讐を期すことになり、二特委に附設された。

国民党の時勢
 初創時期 一九三七の四清室復元 蒋介石の専断は下野した。これは
 以後の国民党の解體の一歩を踏んだ。陳果夫の指導するCCの因に
 形成した国民党の政治界の特色組織の調査科は国民党の専断を期する
 任科長の出現 下野した国民党の専断を期する国民党の専断を期する
 資料の浪中 (已死) 漢口 張國棟 顔達中 陳兆麟 (鄭尚武) 等十人が
 国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。

北朝鮮人民委員會外務局

国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査科
 の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任として
 任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の
 時勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任
 として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。
 国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査
 科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任として任ぜ
 られた。国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時
 勢の調査科の主任として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任
 として任ぜられた。国民党の時勢の調査科の主任として任ぜられた。

一九三一年の時期の反蔣期に極大の崩壊を遂げ、根本として蔣統治を威嚇した。
 蔣の失脚の時期の反蔣期に極大の崩壊を遂げ、根本として蔣統治を威嚇した。
 一九三一年の蔣の失脚の時期の反蔣期に極大の崩壊を遂げ、根本として蔣統治を威嚇した。
 一九三一年の蔣の失脚の時期の反蔣期に極大の崩壊を遂げ、根本として蔣統治を威嚇した。
 一九三一年の蔣の失脚の時期の反蔣期に極大の崩壊を遂げ、根本として蔣統治を威嚇した。

一、上海特科員を人頭預言の救済を調査科と救済科を利用し、特
 務工作政策を加強し、北支(一)上順章と中央特科員を指導する。
 二、設備を整備し、資金を成せしむ。専攻の救済科を捜査科に先任し、徐錫根(即
 潘琦)を主任、宋龍、梁輔成、胡大海(陸俊希)を主任、羅卓英、黃平

北朝鮮人民委員會外務局

一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。

一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。
 一九三一年の救済科員は、同時に資金の南支と北支の調査を成せしむ。

此種之人力是也。其目的在使... (text continues with vertical columns)

- (一) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (五) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (六) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (七) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (八) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (九) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十一) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十二) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十三) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十四) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十五) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十六) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十七) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十八) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (十九) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十一) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十二) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十三) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十四) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十五) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十六) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十七) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十八) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (二十九) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十一) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十二) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十三) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十四) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十五) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十六) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十七) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十八) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (三十九) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十一) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十二) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十三) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十四) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十五) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十六) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十七) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十八) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (四十九) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)
- (五十) 救濟委員會：救濟委員會特設組織調查機關... (text continues)

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局... (text continues with vertical columns)

乙 抗戰時期

抗戰時期... (text continues with vertical columns)

上の要員を分
 小分隊
 本党特工の最新向の
 民國三

此期最近の表現の
 故に及共組織の成績
 例：陳立夫の新疆
 毛澤東の秘書用
 例：陳立夫の新疆
 例：周恩來の留俄生
 例：周恩來の留俄生
 例：周恩來の留俄生

北朝鮮人民委員會外務局

是指示の著
 組織上の
 軍委令が
 先、徐恩曾復
 面、陳立夫
 数人は
 是故に
 米久の失敗
 指揮は
 高級特工

の及は一九三九以後中統高の力方針の是を証す所の時期の中統の組織
 上の追加は、固党の防止共党活動の策を中心、後方若者共党の調
 統計画組織通則の中心、普通の調査の成立、統制調査一共
 産党組織を動す方針、特務機關の中心、同時の固党特務の
 中心、新動向の中心、固党特務の中心、提出の中心、特工の中心、
 務の中心、貴人の組織を運用の中心、党員を訓練の中心、固党革命党
 員の大衆を認識の中心、特工の中心、完全な党の統一の中心、党の特工
 員を認識の中心、の中心、

の時期の中心、固党の三次及共高部の活動の中心、中統高の中心、
 力一組織の中心、方針の中心、再及共高部以後、積極的の中心、活動の
 進行の中心、具体的対策の中心、強調の中心、

北朝鮮人民委員會外務局

高の中心、下等中心の中心、上通通の中心、吾人の中心、統制の中心、
 範の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、
 の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、
 特種の仕事、人員の配置、の中心、の中心、の中心、の中心、
 力加充の中心、並吸吸、軍隊の訓練の中心、の中心、の中心、
 中心、進行の中心、

一九四〇の中心、~~の中心~~の中心、(百五)連隊の中心、(百五)隊の中心、
 規程の中心、の中心、の特務の中心、の中心、の中心、の中心、
 是強調、各地の中心、我党最高機関の中心、責任の中心、提出、
 例、中央局、若者、
 運送、計画の中心、尖撃の中心、の中心、の特務の中心、の中心、
 の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、の中心、
 例、例、支隊、例、以上の中心、積極の中心、の中心、規程の中心、
 一九四〇(中心)

此種情形之發生 必由於此種之原因

一、特種機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
漸次發展而已 故其目的在於 秘密之輸入 以準備其後之行動 凡此等機關 必係由中央之命令而設之
又其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
出現於此種之原因 及之特工頭目 陳建中 李鎮南 李金 吳炳 李
其之 且其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
中韓之關係 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
此種情形之發生 必由於此種之原因

此種情形之發生 必由於此種之原因 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
漸次發展而已 故其目的在於 秘密之輸入 以準備其後之行動 凡此等機關 必係由中央之命令而設之
又其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
出現於此種之原因 及之特工頭目 陳建中 李鎮南 李金 吳炳 李
其之 且其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
中韓之關係 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
此種情形之發生 必由於此種之原因

北朝鮮人民委員會外務局

此種情形之發生 必由於此種之原因 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
漸次發展而已 故其目的在於 秘密之輸入 以準備其後之行動 凡此等機關 必係由中央之命令而設之
又其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
出現於此種之原因 及之特工頭目 陳建中 李鎮南 李金 吳炳 李
其之 且其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
中韓之關係 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
此種情形之發生 必由於此種之原因

此種情形之發生 必由於此種之原因 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
漸次發展而已 故其目的在於 秘密之輸入 以準備其後之行動 凡此等機關 必係由中央之命令而設之
又其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
出現於此種之原因 及之特工頭目 陳建中 李鎮南 李金 吳炳 李
其之 且其機關之組織 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
中韓之關係 必係由中央之命令而設之 凡屬此等機關 必係由中央之命令而設之 現
此種情形之發生 必由於此種之原因

我黨內向來注重三民主義之研究

中國之革命，其特點在於民族之解放，其目的在於國家之統一，其動力在於民眾之覺悟。此種革命之成功，非僅靠少數之知識份子，而須賴全體國民之共同努力。故我黨之政策，必以民族之利益為依歸，以國家之統一為目標，以民眾之覺悟為動力。此三者相輔相成，缺一不可。我黨之使命，即在領導國民，完成此項偉大之革命。此項革命之成功，將使中國成為一個獨立、統一、繁榮、昌盛之國家。此乃我黨全體黨員之共同理想，亦為全體國民之共同願望。我黨必將不遺餘力，為實現此項理想而努力奮鬥到底。

北朝鮮人民委員會外務局

73

秘

一九四七年八月三日

2012 3-15

朝鮮民主主義人民共和國

外交部

北朝鮮人民委員會秘書長

宋重光 謹啟

北朝鮮人民委員會外務局

議定書

日韓兩國之親善和睦 乃政府之要務也 其目的在於兩國人民之
幸福與和平 故兩國政府應採取必要之措施 以促進兩國人民之
親善和睦 並應遵守下列各款之規定

第一條 韓日兩國政府應互相尊重領土主權 並應遵守國際法之
原則

第二條 韓日兩國政府應互相尊重領土主權 並應遵守國際法之
原則

第三條 大日本帝國政府應尊重朝鮮人民之自由權利 並應採取
必要之措施 以促進朝鮮人民之幸福與和平

第四條 大日本帝國政府應尊重朝鮮人民之自由權利 並應採取
必要之措施 以促進朝鮮人民之幸福與和平

第五條 大日本帝國政府應尊重朝鮮人民之自由權利 並應採取
必要之措施 以促進朝鮮人民之幸福與和平

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局 代表北朝鮮人民 向大日本帝國政府
提出抗議 並要求大日本帝國政府採取必要之措施 以促進朝鮮
人民之幸福與和平

大日本帝國政府之抗議 乃政府之要務也 其目的在於兩國人民之
幸福與和平 故兩國政府應採取必要之措施 以促進兩國人民之
親善和睦 並應遵守下列各款之規定

第一條 韓日兩國政府應互相尊重領土主權 並應遵守國際法之
原則

第二條 韓日兩國政府應互相尊重領土主權 並應遵守國際法之
原則

東地事

光武二年(2000)三月十四日

外務大臣 陸軍特務管理陸軍少將 李址錄

外務大臣 陸軍特務管理陸軍少將 李址錄

特命全權公使 林權助

第二次報告

朝鮮の民主建設に對する建議書(1) 米谷正武

一、大韓政府と大日本政府と推測される日本人の在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、一、在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、

一、大韓政府と大日本政府と推測される日本人の在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、一、在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、

一、大韓政府と大日本政府と推測される日本人の在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、一、在朝政務の進行に對する報告書の要旨を述べ、

光武(1908) 1912

外部大臣 田代

尹致昊

朝鮮三十七年(1912) 1912

特命全權大使

林權助

北朝鮮人民委員會外務局

第三次條約(乙)條約(高麗復條約)

日本國政府及韓國政府之西南國之條約之利益者韓國國利也此條約之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

保護者又

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

北朝鮮人民委員會外務局

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者韓國國之利益者及領事之利益者

光武町(一九〇五年)十月十七日

外務大臣

朴齊純

明治三十八年(一九〇五年)十月十七日

外務大臣

林權助

口條約の締結に當りては政府大臣韓廷高の反對は否か否か此の精神を以て

北朝鮮人民委員會外務局

外務部大臣 朴春純

內務部大臣 李址鎔

軍部大臣 李根澤

農林部大臣 李根澤

建設部大臣 李根澤

衛生部大臣 李根澤

教育部大臣 李根澤

交通部大臣 李根澤

司法部大臣 李根澤

財政部大臣 李根澤

中央黨部大臣 李根澤

中央黨部副大臣 李根澤

中央黨部秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

中央黨部副秘書長 李根澤

第三次協約

日本國政府及韓國政府並承前韓國之屬領之南滿洲之韓國及朝鮮之增進其利益之目的在於
前條協約之規定

第一條 韓國政府之施設政策其目的之統制指導等之受託事。

第二條 韓國政府之法令之制定及重要之行政之執行等之統制以承認其經濟事。

第三條 韓國司法事務之普通行政事務等之區別其事。

第四條 韓國警察官吏之任命之統制以同意其行政事。

第五條 韓國政府之統制權其任命人及韓國官吏之任命等事。

第六條 韓國政府之統制權其同意其外國人之僱聘等事。

第七條 朝鮮之土地所有權(在土地所有權)之自韓國政府之廢止其事。

右協約之執行在本國政府之相對於委任之受託人本協約之規定

即此之也

北朝鮮人民委員會外務局

光緒十五年(一九〇九年)八月五日

內閣總理大臣 趙秉世 李兌用

朝鮮皇帝(高宗)御筆

統監 侯爵 伊藤博文

朝鮮民主主義人民共和國 (一九四八) 八月二十五日

統帥 子 魯 弄 金正毅

任職日期 (一九四八) 八月二十五日

內閣總理大臣 李光弼

大相連國 (一九四八) 八月二十五日 任職日期 (一九四八) 八月二十五日 任職日期 (一九四八) 八月二十五日

內閣總理大臣 李光弼

內務大臣 朴春純

農林大臣 趙重德 學務大臣 李春植

護交部大臣 高永喜

北朝鮮人民委員會外務局

朝鮮の領土と境界

朝鮮の領土は、北緯38度線より南緯32度線に
 至るまで、東經124度線より西經129度線に
 至るまでを占め、面積は約220,000平方
 キロメートルに達する。このうち、北緯38
 度線以北の地域は、かつては高麗の領土
 であり、高麗が滅亡した後は、清の領土
 となっていた。北緯38度線以南の地域
 は、かつては新羅の領土であり、新羅が
 滅亡した後は、高麗の領土となっていた。

北朝鮮人民委員會外務局

第一條 北朝鮮人民委員會は、北緯38度線
 以北の地域をその領土とし、北緯38度線
 以南の地域をその管轄地域とする。北緯
 38度線は、北緯37度線と北緯39度
 線の中間の緯度を指す。北緯38度線は、
 北緯37度線と北緯39度線の中間の緯
 度を指す。北緯38度線は、北緯37度
 線と北緯39度線の中間の緯度を指す。
 第二條 北朝鮮人民委員會は、北緯38
 度線以北の地域をその領土とし、北緯38
 度線以南の地域をその管轄地域とする。

一、得此但人... 自領事館... 裁制... 萬國... 故... 之... 之...

萬國... 故... 之... 之...

北朝鮮人民委員會外務局

一、... 自... 之...

一、... 自... 之...

83

秘

五十七年七月

局長先生

中蘇友好同盟條約文

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部崔英

北朝鮮人民委員會外務局

措置を採取して日本に有利なる公平な協定を締結せしめ
 朝鮮の領土を滿洲日本の勢力に侵蝕せしめ不得已成るべきを
 確保し得ざるは当然の即時之能力を以て朝鮮の領土を一切
 軍事及び政治的援助を絶たす本條之取合國會議の締結及びその請
 求を遂行するの目的は後述防止措置に明白相違あり存あり
 本條締結の國の一方は又相対するの一方に同意する締結するに及
 相対するの一方に集約するに及ばず

本條締結の國之彼此の完全經濟發展の利益を為すに平和協定
 以後彼此の平等尊重を以て領土完整に相対する内政原則に於て
 同意する一方の上は當然に友好協定を結ぶべき同意あり

本條締結の國之兩國の復讐を便利せしめ促進せしめ世界の繁榮及び
 貢獻の増進を以て以後の彼此の利益を以て經濟的援助の利益を同意せし

北朝鮮人民委員會外務局

本條締結の國之聯合國會議委員の権利義務を以て本條の内
 容を解釋するに對するに同意あり

本條本條の當然の最終目的の批准に此批准書に以て可
 及速に重慶に相互交換す本條の批准後即時効力を以て可
 存期間の三十日以内に締結するに於て一歩前の履行に於て
 通知するに同意し本條の無期限の延長に於て存期間の締結
 後三十日以内の期限に於て本條の締結の効力を停止す
 此批准書は本條の締結を採るに
 同意するに同意あり

中華人民共和國政府並諸全權代表
 本條の締結に同意し又本條の締結の効力を以て可

北朝鮮人民委員會外務局長
 本條の締結に同意し又本條の締結の効力を以て可

双方照会

一、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

二、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

三、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

四、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

北朝鲜人民委员会外务局

五、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

六、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

七、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

八、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

九、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

十、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给也

此の北聯政府と東三省は中國の一部を以て中國の対北東三省の
故を充分尊重するが其領土行政の完結を承認す

三、新疆最近事變の爲に北聯政府と此の同盟友好條約を保持す
該條約は中國内政を干渉するものと意思を以て未だ成立す

該條約は貴族部長の同意の証明として此の本總領事官部長
の同意として此の友好同盟條約の一部の故に本部長と特別協の上項

を該條約の上項は聲明に本部長と貴族部長の同意高斯表す
蘇聯外交人民委員部長 是日北日部長

中華民國三十四年
四月十九日

二、米翰、部長閣下蘇の北蒙人民の其独を以て願はるる兩次表
示は中國政府と日本、敗戦後北蒙人民の投票は此の
此を認むる此項希望は此を以て実行する聲明に中國政府

北朝鮮人民委員會外務局

と北蒙人民の独を當然に承認す 現在の境界を之境界を以
て聲明す 民國三十四年八月五日 北日友好同盟條約の批准
計は此を承認す 本部長と貴族部長の同意高斯表す

蘇聯外交人民委員部長 是日北日部長

中華民國三十四年
四月十九日

乙、米翰、部長閣下、閣下は閣下と之獨を以て接受す 蘇の北
蒙人民の其独を以て願はるる兩次表す 中國政府と日本、敗
戦後北蒙人民の投票は此を認むる此項希望は此を以て
実行する聲明に 中國政府と北蒙人民の独を以て完全承認す
以現在の境界を之境界を以て

甲、聲明と 民國三十四年八月五日 北日友好同盟條約の批准
計は此を承認す

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

88

蘇聯政府之 中華民國政府之 對北平 上項照會及電報悉均接受北平
 內廷政府表示不認 蘇聯政府及 蒙古人民共和國政府之 領土
 以另舉之 尊重也 本部長及貴部長均對北平之 崇仰也
 敬請注意也

中華民國國民政府外交部王部長世杰

中華民國三十四年
 西曆一九四五年八月十九日

北朝鮮人民委員會外務局

中國長春鐵路協定

中華民國政府與日本國政府所訂之中國長春鐵路協定
 協定之內容及目的在於使日本國政府得在中國長春鐵路
 沿線之各站及附近之區域內經營商業及運輸業。此項協定
 係於一九〇五年八月二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 一、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 二、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 三、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 四、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 五、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 六、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 七、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 八、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 九、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：
 十、日本國政府得在中國長春鐵路沿線之各站及附近之區域
 內經營商業及運輸業。此項權利係由日本國政府與中國
 政府所訂之協定中獲得。此項協定係於一九〇五年八月
 二十三日在東京簽訂。其內容如下：

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局
 北朝鮮人民委員會外務局係於一九四八年八月十五日在平壤
 成立。其宗旨在於代表北朝鮮人民委員會對外進行外交
 活動。該局之組織及職權如下：
 一、該局設局長一人，由北朝鮮人民委員會任命。局長之
 職權如下：
 1. 代表北朝鮮人民委員會對外進行外交活動。
 2. 代表北朝鮮人民委員會與外國政府或國際組織進行
 談判。
 3. 代表北朝鮮人民委員會簽署外交文件。
 4. 代表北朝鮮人民委員會參加國際會議。
 5. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 6. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 7. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 8. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。
 9. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 10. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 11. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 12. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。
 二、該局設副局長一人，由北朝鮮人民委員會任命。副局長
 之職權如下：
 1. 協助局長處理外交事務。
 2. 代表北朝鮮人民委員會對外進行外交活動。
 3. 代表北朝鮮人民委員會與外國政府或國際組織進行
 談判。
 4. 代表北朝鮮人民委員會簽署外交文件。
 5. 代表北朝鮮人民委員會參加國際會議。
 6. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 7. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 8. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 9. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。
 三、該局設秘書長一人，由北朝鮮人民委員會任命。秘書長
 之職權如下：
 1. 協助局長及副局長處理外交事務。
 2. 代表北朝鮮人民委員會對外進行外交活動。
 3. 代表北朝鮮人民委員會與外國政府或國際組織進行
 談判。
 4. 代表北朝鮮人民委員會簽署外交文件。
 5. 代表北朝鮮人民委員會參加國際會議。
 6. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 7. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 8. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 9. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。
 四、該局設秘書一人，由北朝鮮人民委員會任命。秘書之
 職權如下：
 1. 協助秘書長處理外交事務。
 2. 代表北朝鮮人民委員會對外進行外交活動。
 3. 代表北朝鮮人民委員會與外國政府或國際組織進行
 談判。
 4. 代表北朝鮮人民委員會簽署外交文件。
 5. 代表北朝鮮人民委員會參加國際會議。
 6. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 7. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 8. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 9. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。
 五、該局設參事若干人，由北朝鮮人民委員會任命。參事
 之職權如下：
 1. 協助局長、副局長及秘書長處理外交事務。
 2. 代表北朝鮮人民委員會對外進行外交活動。
 3. 代表北朝鮮人民委員會與外國政府或國際組織進行
 談判。
 4. 代表北朝鮮人民委員會簽署外交文件。
 5. 代表北朝鮮人民委員會參加國際會議。
 6. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出建議。
 7. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出申訴。
 8. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出抗議。
 9. 代表北朝鮮人民委員會向國際組織提出請求。

理事長を置かざるとの理由副理事長を置かざるとの理由
 表之三票を計算し、理事長の選挙人が七人、副理事長の
 選挙人が五人、この二種の選挙人が七人の多数を以て公
 平に決するの便に精神を以て解決せしむ

九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、
 九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、

北朝鮮人民委員會外務局

九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、
 九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、

九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、
 九條 公用の理事會を設置し、其事を以て人を選任し、其中三人は
 政府に、三人は蘇聯政府に、三人は蘇聯政府に、理事長の選挙
 権を以て、副理事長の選挙権を以て、理事長の選挙権を以て、
 理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、理事會の議長を以て、

中華民國三十一年八月十四日

一九五〇年八月十四日 於平壤

中文、朝鮮文、各三篇 中文、朝鮮文、同等比例力可也

中華民國三十一年八月十四日 (記者記)

此項社會主義愛國歌及國歌等係由北平各機關團體人士及各界代表(記者記)

北朝鮮人民委員會外務局

「開放大連港口捕鯊」

大連港は、開港以來、中華民國內に於ては、社会主義共和国聯邦に友好
な關係にある。この關係は、社会主義共和国聯邦と中國の關係に
對して、東三省の全權を主として、保護し、尊重し、中國の「不可分割の
領土」である。この關係は、社会主義共和国聯邦と大連の對して、この貨物運送の
利益獲得を保障し、保護し、この中華民國內に於ての同意である。

一、大連港は、自由港である。在國貿易及搬送の對此の権利を開放し、
二、中國政府の別れを、大連港の開放を、この開放港の地位を、この開放港の
三、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
四、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
五、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の

北朝鮮人民委員會外務局

一、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
二、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
三、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
四、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
五、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の

六、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
七、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
八、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
九、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の
十、大連港の開放は、中國の開放の港である。この開放港の地位を、この開放港の

該區域內之駐軍者指揮者高司令官之保護此區域之防務是為北朝鮮
 行政當局之北建議之該行政當局之行政及一切之軍事事務均
 由司令官之北軍事官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官
 之北

不條上取政府之司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官
 軍之北其駐劄地是北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北

不條上取政府之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官
 之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官

不條本協定於期後上取之該區域內之建置是北司令官之北司令官之北司令官
 之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官

不條本協定於期後上取之該區域內之建置是北司令官之北司令官之北司令官
 之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官

北朝鮮人民委員會外務局

本協定之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官之北司令官

中華民國三十八年五月十四日

西曆一九四九年六月十四日

此項之下一為... 政府代表之協議之解決也

(七) 此項軍隊之中國東三省之進入之後... 此項是是是是

(八) 本協定之本自謂印... 本協定之中國及各省之... 三四年中... 中華人民

中華人民代表... 此項社會主義共和國聯邦最高... 全權代表在常

北朝鮮人民委員會外務局

100

秘

一九四七年八月九日

局 呈

東北戰況

北朝鮮人民委員會外務局
東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

東北戰況

(五月十一日—七月一日) (五月五日回)

我軍夏秋攻勢之五月五日早前 東亞南滿鐵執事、
 冀東各州戰場の如く、開始に、同時に、敵の対北作戦(進
 攻的)の展開に、相互配合に、七月一日の如く、五月五日の如く、
 敵殲滅八万余名、四三二縣城(三中六但之在) 敵の占領地
 (北)を收復した。敵の占領地區十万余平方キロに
 達する。敵解放に、人々は、約一千万(冀東を除く)の
 ため、鉄道を、控制した。二四五百全里に、
 敵の、우리에對に、東西南北、皆、冀東執事各根
 拠地、分割計劃、所謂、二、樓廟守衛、佈置を、
 完全に粉砕した。此の、四平街の、重兵を、固守する

北朝鮮人民委員會外務局

敵の、嚴重に、打撃を、受けた。敵軍は、北、
 中長路、北、省路、林長、走、柳、地帯を、
 收縮した。所謂、重兵防衛の、北、南、北、
 昨年、四平街戦役、敵軍の、侵犯、北、地區を、九、大、城市を、
 除、北、外、の、北、地帯を、以、以、解放した。北、東、北、
 局勢を、改善した。今後、我軍の、戦、有利な、條件を、
 創造した。北、地帯の、戦果を、初歩的統計を、北、地帯の、

敵軍官死七一覽表

番	職別	姓名	数字	番	職別	姓名	数字
七一	軍長	馮家毅	一	獨三	師師長	校以上軍官	一四
七一	師師長	韓增棟	一			校以上軍官	三三九一
本營	營長	任忠孝	一	合計			三三三〇九
獨三	師	王景岩					

敵軍官將傷一覽表

番	名	職別	姓	名	數	字	備	考
七軍二師	師長	陳	南	文	1		敵俘傷	合計之十
七軍九二師	副師長	鄧	麟	光	1		似師以兵力可	
七軍二師	陳	麟	陳	呈	詳			
七軍二師	校以上	軍	官		四			
七軍二師	校以下	官	兵		五八九四六			
合計					五八九九五			

正規軍校以上擊滅一覽表

七軍八師	一新軍新三師九團	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地
七軍九師	一新三師二二團	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地	七軍直招澤地
合計								

北朝鮮人民委員會外務局

七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團	七軍五四師一團
合計								

鐵滅北地方部隊之整批者之

青三師、暫三師、獨三師、偽八軍八團、保三團

保久團、保七團、保七團、昌黎保安團、合計八團、保三團

我軍收復以敵引占領北縣城一覽表

日	我軍收復縣城在	計	敵在占領北縣城	計	日	我軍收復縣城在	計	敵在占領北縣城	計
雙山	一	一	一	一	雙山	一	一	一	一
公五峯	一	一	一	一	公五峯	一	一	一	一
黎	一	一	一	一	黎	一	一	一	一
通遼	一	一	一	一	通遼	一	一	一	一
合計					合計				

美武武器捕獲統計表

北朝鮮人民委員會外務局

品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量		
山砲	三五	擲彈筒	一九五	電	九〇	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
機關砲	一	戰防槍	一八	戰馬	七六八	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
戰防砲	四三	高射機槍	三	駱駝	一七〇	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
火箭砲	一〇五	輕機槍	一九四	汽車	一三五	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
迫擊砲	一四	衝鋒槍	二七六	戰車破壞	一	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
砲彈	二〇〇,〇〇〇	子彈	一〇,〇〇〇,〇〇〇			海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九
飛行機墜	五	長短槍	六九五			海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九	海	九

以上

海 九

104

秋

一九四七年八月一日

國社黨自由來

北朝鮮人民委員會
外務局東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

國社黨の由來

一九三〇年春李中回之農紅軍の以てハ 發展せしめ
 上海の大部分大學教授(張君勱、張東蓀)の官修(官
 湯御銘、徐夢岩)之中國共產黨の力量の増長を以て
 寧靜の同時のハ 國民黨の統制上のハ 以て奔馳せしめ
 此を以て國社主義 之を以て 中國の指命統制
 外來科を以て申す事アリ 中國を 逐つた方格を
 以て以て國社主義の國家主義を以て 羅隆基以新
 派の又其象 梁實秋の滬南來、甚至於政界の章士釗の
 吸收せしめ、之の最初の一定の 名稱ハ 一定の組織
 形式の以て 陣中後の 羅隆基、梁實秋の北平のハ 自由評
 論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之 黨綱數條を以て
 以て之時張君勱之 燕京大學の以て之 兩人の商議は
 其の益世報主筆 羅隆基を以て之 兩生社を發起
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對界を 兩派
 の各生以て 一部分 政界の以て之 北平の總部を 設置す
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立せし 以て之 兩
 生時期を 以て之 天津、京平のハ 活動せしめ、
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示
 以て之 以て之 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

北朝鮮人民委員會外務局

論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之 黨綱數條を以て
 以て之時張君勱之 燕京大學の以て之 兩人の商議は
 其の益世報主筆 羅隆基を以て之 兩生社を發起
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對界を 兩派
 の各生以て 一部分 政界の以て之 北平の總部を 設置す
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立せし 以て之 兩
 生時期を 以て之 天津、京平のハ 活動せしめ、
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示
 以て之 以て之 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

此等提法也 在一方面之見 當時蔣介石之政策以
 不構黨以引之也 此等見地 地位之分 故其行為 新
 民主政治也 其意也 該黨幹部 至甲乙之發表 記
 實言也 中國之現狀 三化政策 以見之 性質論也 國民黨之
 腐敗也 共產黨之惡化也 青年黨之頑固也 行部
 論也 國民黨之官僚化也 共產黨之土匪化也 青年
 黨之學究化也 主義論也 三民主義之混亂也
 共產黨之激進也 國家主義之背式也 時代論也 三
 國民黨之前期革命也 共產黨之混亂時代之犧牲也
 青年黨之過渡時代之附庸物也 此等見地也
 九八以後 此等是當時環境之適應也 一般人之口吻也
 此等行為 此等是流動內容也 增加也 抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟也 政府外交政策也 攻擊也 積極也
 救國運動也 提議也 此等見地也 大部分也 本身也
 要求也 反映也 同時也 地位也 地位也 地位也
 此等之政權の參加也 一段也 此等也 宏觀也
 是也 進步的作用也 引起也 一部分也 青年也
 好評也 同時也 卒業後の出路也 圖謀也
 行為也 一部分也 青年也 健全也 可 一三八 激進也
 多爆發也 此等見地也 救亡也 華北也 激進也
 是也 愛國也 青年也 達揮也 行為也 張君勳也 愛也 組織也
 此等見地也 容易也 吳也 此等見地也 認識也 結局也 羅陸
 基、溥實秋、張東蓀、徐溥霖也 相議也 此等見地也 黨也 組織也
 海生也 臨時也 大會也 存在也 此等 正式也 國家也 社會也

組織の總幹事を北平の設置に於て張君勳を總務、羅陸
基を組織、張君勳を主任とし、選任せらるる。又
樞密院を組織す。

二 國家權力理論の主張

五四時代の中國の知識者の思想の趨勢は、先づ
張君勳の文章を讀む所の如く、之は精神作用を強調せしむる
感覺の心理の概念を以て、感覺の作用の如く、
所謂精神作用の如く、辯論唯物論及び更なる論議を
反對せしむる。社会機能性を提唱せしむ。社会之經濟、政治、
法律の如く、分子を構成せしむる。決定せしむる。其中心に
經濟的變動の如く、社会の變動の如く、及國
際の 世界觀の如く、其基本可能の以上を要す。

北朝鮮人民委員會外務局

の如し

一 國家民族本位主義： 該黨を改定せしむる中、其中心に、民族觀
念を人類中の至高の價值と爲す。階級觀念の如く、反抗
すべき如く、以前に及ぶ。目前の事態の如く、社会民族の
利益の高度の達成に階級の如く、境界線を以てしむる。其
如く、日本が中國を以て北進せしむる、或進出の如く、
日本が對抗せしむる。資本の階級の如く、其如く、其如く、
其如く、抵抗の如く、其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、
階級觀念の如く、比較的強弱の如く、此は民族の進歩の階級
の横断を以てしむる。其如く、階級の如く、横断の民族進歩
の如く、其如く、即ち其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、
國策の國家化の如く、其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、
其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、其如く、

惟孔氏之地位 多可計其也
 抗戰前孔氏與當時之黨多一六百名之數 北平四百多人
 香港四百多人 南京上海七八十名 武漢四一二十名 天津四
 五六十名 四川山東之該黨之支部多至千名 抗戰初期百餘
 人之孔氏之 後之黨多發展至 停止孔氏之 現在重慶中
 家名四十四名之總部之設置也 西南在華公司之 該黨
 之事業機關之孔氏之 其後之支部之 大體之 官修政黨
 之統統組織之有 教授等上層分子之皆見也

過去因孔氏之內部之兩派之以外 一為張君勱派 一為羅
 隆基 梁實秋派之 張派之 陸鼎權 張派之學生之 孫斯
 鳴 馮今向 劉致遠 張君勱等之 羅 梁派之 紀文勳等之
 此之兩派之關係之甚烈也 張君勱派之學生之 北平孔

北朝鮮人民委員會外務局

之梁羅等 梁實秋派之 梁羅等之 梁實秋派之 梁實秋派之
 及梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之
 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之
 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之
 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之 梁實秋派之

該黨之機關之 再生之 再生之 再生之 再生之
 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之
 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之
 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之 再生之

四、因孔氏之政治活動

因孔氏之 一九三三年之 能成此以後 二三年 當時一般介紹
 愛國之 青年學生之 吸取孔氏之 愛國運動之
 之 贊助之 孔氏之 華北救國會之 各派孔氏
 他一方面之 秘密之 張嘉璈 張君勱等之 關係之

頃已將介在之極力之令作之疏疏通之也。地方勢力之元
 陳雨、榮祿、韓後、吳佩孚等之往來也。抗戰初期
 之是之多方面之。國民黨之檢討也。張君之該黨之
 代表也。蔣介在之。書信之。政府之擁護也。
 誠意之表也。只今民放之存之。容易之。大衆
 之心也。國民政府之討也。一致之擁護也。此之蔣生
 之。國民黨之討也。該黨之經費
 之補充費十萬元之請求也。國民黨之。擁護也
 之。此之。何則。該黨之
 購買也。國民黨之。以後。該黨之
 君。梁寒秋、羅隆基、陸鼎撰、徐溥林、浦希來、胡和
 希、人之。此之。章士釗、羅文

北朝鮮人民委員會外務局

幹、江、羅、王幼福等之該黨之關係也。此時期之
 是之。親密也。才之。是之
 是。望之。汪議長之。感謝也。是之
 抗戰之問題上。因。抗戰之主張也。已。限
 而。抗戰之主張也。是之
 恒。親善論。相。表。也
 例。一九四八年。汪精衛也。
 敵。要。是之。是之
 時。中日。是之。是之
 一九四九年。汪。汪。是之
 之。自。而。是之
 是。是。是之。是之

即「生取」使觀是皆種類の一厚皮動物也云々也、
 也、州也、其リ「國民性」ハ此れ也、社會主義民主政治之
 民主政體或ハ「黨派政治」ノ常態也、此れ「認」ルル中、有ルル
 其故等也云々也、生取ノ共産黨ノ侵入也、是ハ「辱」ル也、
 以上是、吾國共産黨ノ北伐初期ノ政治態度也、以テ此態度後
 之者然リ、國民黨ノ「權」利ヲ用リテ、之ヲ「張」リ、毛澤
 東ノ力也、昔「孫」君印廟也、昔有ルルノ後、之ヲ「毛」澤東
 一ハ民族進歩院也、總管也、此れ「行」為也、有ルル「社會」進歩
 外「議」表也、此れ「甚」至於「之」黨内也、及テ此れ也、
 該党「自」張東漢院也、極「不」同意也、張君勳ハ
 以テ此「團」體ノ「破」壞ヲ行ハシ、之ヲ「北」伐也、此れ「必」有共産黨
 侵佔也、此「亦」在「此」也、認「是」之「張」君勳ハ、以テ此「論」ヲ「該」党ノ
 主張也、張君勳ハ、此れ「張」君勳本人也、以テ此「名」也、此「外」
 在「吾」後「悔」也、意「見」也、此れ、以テ「在」太平洋政争ノ「爆」發
 也、國民黨ハ、自「及」動也、民主政體「團」體
 參加也、因「此」ノ「重」復ノ「拘」束也、民衆各「院」ヲ「取」
 也、此れ、自「身」存「在」也、國民黨ノ「對」此ノ「要」感也、此れ、
 漸「ハ」共産黨ノ「接」近也、此れ、以テ「敵」視態度也、
 此れ、自「身」存「在」也、自「身」存「在」也、
 緊「張」也、此れ、以テ「共」軍「協」助也、
 此れ、以テ「根」據地也、
 此れ、以テ「名」譽也、
 此れ、以テ「中」國也、

北朝鮮人民委員會外務局

SHIPPING ADVICE NO 2006

BOX 1
ITEM 36

Box 11

Copy 1

115

右方面の人々は 輻輳の共同の責任を對中する

第一 改進黨... 改進黨之德者此時國民黨이라 於此之時 特殊地位

第二 改進黨... 民國の民國の政を承認する 其故は人民の

原則にして 此の順應は三層に 存在せしむる 逆有之搬送は其の

第三 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第四 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第五 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第六 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第七 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第八 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第九 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十一 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十二 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十三 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十四 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十五 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十六 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十七 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十八 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

第十九 改進黨... 民國の政を承認する 其故は人民の

北朝鮮人民委員會外務局

第一線の國事は既に 現在迄 改進黨黨首蔣改進黨の

堅持する 國民黨の改進黨決議を 輻輳するが如く 蔣の

蔣の及ぼすは 二に 蔣の 人士を 召集するが如く 蔣の

改進黨上の 比内(國民黨)の 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 官職の 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

蔣の及ぼすは 蔣の及ぼすは 蔣の 蔣の

國民黨中央調查部之沿革及組織之現狀
 國民黨中央調查部之沿革及組織之現狀
 國民黨中央調查部之沿革及組織之現狀

甲、中央時期

初創時期
 成立後之發展
 形勢之變遷
 任科長之日見
 查科之改組
 (已) 擴充 (九) 派員

七、四月十八日委員會

現況之調查
 調查科之改組
 調查科之現狀
 調查科之現狀

調查科之現狀

一、調查科之現狀
 中央調查部之現狀
 調查部之現狀
 調查部之現狀
 調查部之現狀
 調查部之現狀
 調查部之現狀
 調查部之現狀

中央調查統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、
 中央調査統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、
 中央調査統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、

北朝鮮人民委員會外務局

中央調査統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、
 中央調査統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、
 中央調査統計司の報告に於ては、北朝鮮の政治情勢は、
 大分安定したものと見られる。復旦の八組職を解散したことは、
 在集の解散を首飾した。北朝鮮の政治情勢は、

の及ぶ一九三九以後の統制は、力に方針を定め、証明書の時期の組織
 上の追加組織は、國境の防止共党活動を中心とし、後方在道市党部を調
 統計画組織通則の原案の普通の調査を、成立後、統制調査一共
 産党組織活動の材料を、特務機關に提供した。同時の國境特務の
 作の新動向の國民党特務化の方針を提出した。この時期に、特務の
 務を一元化、貴族組織を運用の党員を訓練し、特務の國境革命党
 員の大職を、組織の中心に持て、完全な党の活動の中心に、党の特務の
 果敢に活動させた。

の時期の中心、國境の三次及共高部を、活動の中心とし、及共
 力一組織の強弱に方針を、毎度及共高部の後、積極的の準備に、之を動
 在行の、具体的材料上、及共の題を、強調した。

北朝鮮人民委員會外務局

の中心に、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 特務の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 力に方針を、毎度及共高部の後、積極的の準備に、之を動
 在行の、具体的材料上、及共の題を、強調した。

北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 特務の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、北朝鮮の中心、
 力に方針を、毎度及共高部の後、積極的の準備に、之を動
 在行の、具体的材料上、及共の題を、強調した。

一九四九年十月十日
 中央宣傳部
 關於各機關團體
 中宣部
 各機關團體

一九四九年十月十日
 中央宣傳部
 關於各機關團體
 中宣部
 各機關團體

北朝鮮人民委員會外務局

一九四九年十月十日
 中央宣傳部
 關於各機關團體
 中宣部
 各機關團體

紀念「七七」

迎接祖國民主自衛戰爭的勝利！

安居北望和平寧靜中的同胞們！今天是祖國「七七」抗戰十週年紀念日。我們的祖國正處在漫天炮火中。從十年前
的七月七日算起我們全國的抗日將士和海內外同胞。流血流汗。和敵人苦戰了八年。才取得了最後勝利。才保衛了祖國獨立
我們對子孫傳祖國的「人民英雄」。實在感佩。對子孫犧牲了的將士同胞。無限哀悼。
同胞們！從「七七」開始的八年抗日戰爭。是我們祖國命運的重大關頭。是中國人民的生死關頭。我們自己和我們的
子孫要永遠銘記這一歷史。

我們中國是地大物博人口衆多的國家。世界上的強國們都想侵略佔領他。
自從民國十六年以來。蔣介石破壞了革命的「三民主義」破壞了第一次國共合作。勾結帝國主義。反對人民。打共產黨。
以便進行他獨裁專制的企圖。就在這樣的情況下。引進了日本帝國主義。發生了一九三一年「九一八」事變。更由於蔣介石政府的
不抵抗。日本就毫不費力地佔了東三省。第二年又來打上海。再過一年侵入察哈爾。蔣介石政府還是不抵抗。
日本佔了東三省。就進逼東北人民組織義勇軍發展遊擊戰並向國民黨說：「中國快亡了。自己不要打個個一團
去打日本罷！」連打了好幾次。蔣介石不理會。共產黨又向全國各界提出來。我們組織「抗日民族統一戰線」制止內戰
去救國家！許多社會領袖和各界人士都贊成了。可是蔣介石不答應。罵成抗日的人士就是共產黨。將他們關起來。愛國人
士和學生們。不顧一切。發動了「一二·九」學生愛國運動。國民黨的愛國軍人張學良等也贊成共產黨團結抗日的主張
並在十一年前舉行了西安事變。這使蔣介石不得不才停止了內戰。

過了十一年。民國二十六年。日本又侵入華北。七月七日。又發動了淞滬戰爭。炮火一响。全國對日抗戰就開始了。
但是。這次全國團結抗戰。蔣介石原來是不願參加的。他心裏想獨佔之。消滅異己。保存實力。企圖維持其獨裁統治
不願打日本。準備隨時我機會打共產黨和人民自己的軍隊八路軍和四軍。表面上抗日。暗地裡勾結敵人。並派大批國民
黨軍人和軍隊投降敵人。與敵勾結。共同來進攻人民和八路軍。第四軍的敵人李德素同來的解放區。六年來蔣介石更親手做
造了「皖南事變」。與敵勾結。殺死了成千萬的抗日有功的新四軍將士。蔣介石幾次想進攻蘇聯。企圖投降。而被共產
黨所揭發敵人千方百計制止了。

共產黨呢！自從開始抗戰。便將蔣介石領導的紅軍改爲八路軍。第四軍。地處民團併排戰。一上前後。便在軍事上打下了
大勝仗。救贖了全國的災民。除了日本的一二九「亡國論」。後來它不斷地收復蔣介石放棄的領土。並組織了民衆。堅持
敵後游擊戰爭。八路軍和四軍等。抗戰者日見其多。華北的百分之六十。和華南的百分之九十五。國民黨只佔百分之三
日本的自軍和百分之五的自軍。在八年抗戰中。八路軍和四軍消滅敵軍一百三十六萬餘名。解放了一萬四千多人的
敵軍。收復了二百多個縣。解放區普遍達到十萬餘名。這建立了十九個抗日民主政府。到了前年八月十五日日本投降後。蔣
介石下令叫八路軍新四軍不要動日本人民。維持秩序。可是八路軍的軍隊都有敵人。的獨斷專行。在兩個月中。又
收復國土三千一萬五千餘平方公里。解放人口一千八百七十餘萬。收復城市一百六十個。

抗日戰爭勝利了！這勝利是全國人民和海外僑胞流血流汗用體力拼來的。是毛主席領導共產黨發動的抗戰。領導東北和
全國人民抗戰的勝利！是八路軍新四軍用血肉換來的！
可是。同胞們！我們真想不到。八年犧牲苦戰換來的祖國獨立。被蔣介石集團用賣給了美帝國主義！創傷未復的國土。
又被內戰的烽火破壞。先烈鮮血和血淋淋的抗戰成果。被獨裁者蔣介石搶奪完了。我們流過汗。流過血的同胞又被
敵方地方趕到內戰戰場上去送死。在八年抗日中。衣食不用的同胞。現在更成批成批地死和自殺這是誰造成的？這是一心
只爲自己發財。爲自己嗜在人民頭上吸人民膏血爲所欲爲的蔣介石獨裁集團造成的。

因爲。八年抗戰後。中國人民要翻身了！因爲。在中國解放區種人民已經得到了民主權利。選擇了自己的政府。建立了人
民的軍隊。解放區裡實行了民主改革。沒有地的得了地。沒有錢的得了錢。做買賣的有了事做。做買賣的一天天發達。
解放區裡衣食充足。成了人民的天下！蔣介石一看。感覺：「不好！我的獨裁做不成。我的威權要垮了！于是
只等抗戰一停。就一面假意和共產黨談判和平統一。一面就向美國借債要軍火。調兵進駐進攻解放區人民。
展開了全面內戰。

但是。美國的錢和軍火原不是白給的。他也跟日本一樣。要他把中國吞下成殖民地。蔣介石爲了打中國人民。只得訂立了
中美商約。將中國主權完全出賣。換來美國的軍火金錢。他又訂了無數的賣國條約。把糧食來做軍糧。抽了成白
匪壯丁去送死。這樣一來。蔣介石當然工商業倒閉了！再地荒蕪了！糧食短少了！人民餓死了！不顧犧牲的抗戰死
的人民都起來鬧爭學生起來。罷課。工人罷工。教員罷教。來反對他反對內戰！

沒飯吃的人起來搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！
連他坐鎮的南京上海都搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！
身方面。解放區人民爲了保衛國家。保衛他們已得到的幸福生活。展開了英勇堅決的抵抗。蔣介石一共用了二百二十三個
旅進攻解放區。只剩二十三個旅守備區後方。可是二百二十三個旅。不到一年就被人民解放軍滅滅進一百個旅。幾乎一半
剩不來的。一百多個旅能得幾下滅滅呢？

相反的人民解放軍却越打越強大。戰術越打越進步！因爲他們保衛人民的利益。人民就擁護他。就從人民那裡得到無
窮無盡的補給力量。現在人民解放軍已有正規軍三百餘萬。民兵總數達三百餘萬人。他們已把從將軍那裡繳獲的槍械將自己
武裝了起來。廣大人民。在二百二十萬共產黨員的領導下。一定能擊決。徹底乾淨消滅人民的敵人！而且這一天也不會很
遠。

同胞們！爲了保衛我們自由民主的生活。我們要用一切力量支援祖國人民反獨裁反賣國的自衛戰爭。盡一切力量徹底消滅蔣
聯合的進犯軍。

- 一、紀念七七。抗戰十週年紀念。積極支援祖國獨立。和平。民主運動！
- 二、紀念七七。反對獨裁。反對賣國的蔣介石！
- 三、紀念七七。擁護中國人民領袖毛主席。及其領導的人民解放軍！
- 四、紀念七七。反對美國干涉中國內政。美立即撤出中國去！
- 五、建立真正民主的聯合政府！
- 六、中國人民愛國自衛戰爭勝利萬歲！
- 七、獨立和平。民主。富強的新中國萬歲！

達北北西北角東南角一帶地方最近發生組織北北同盟的黨羽約有數千之
 秘密訓練班是組織北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 黃子又杜錫 余振林 陳秋中 等是主持北北同盟的黨羽約有數千之
 在這些北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 被發現的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 是北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之

北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之

最近數月內的事業繁榮 上海 西貢 等各大城市之 國際的和平秘密組織
 的組織 大都十分廣闊 破壞是極其迅速之極 過去之 破壞北北同盟的黨羽約有數千之
 的組織 大都十分廣闊 破壞是極其迅速之極 過去之 破壞北北同盟的黨羽約有數千之
 的組織 大都十分廣闊 破壞是極其迅速之極 過去之 破壞北北同盟的黨羽約有數千之
 的組織 大都十分廣闊 破壞是極其迅速之極 過去之 破壞北北同盟的黨羽約有數千之

北朝鮮人民委員會外務局

五 邦公、東放達使國休之利用北北同盟的黨羽約有數千之

最近 在 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之
 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之 南 北 同盟 的 黨 羽 約 有 數 千 之

以上各總觀北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 以上各總觀北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 以上各總觀北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 以上各總觀北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之
 以上各總觀北北同盟的黨羽約有數千之組織北北同盟的黨羽約有數千之

秘
秘

一九四七年五月十五日

情報部

九

贈錄江對岸「中國人民軍中央軍」

非法行為調查

北朝鮮人民委員會秘書長

東亞部 權英

北朝鮮人民委員會秘書長

中央軍の西朝鮮共産黨の侵入を著す

三、九月五日、中央軍は西朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、西朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、西朝鮮共産黨の侵入を著す。

○北朝鮮共産黨の侵入

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

○北朝鮮共産黨の侵入

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

○北朝鮮共産黨の侵入

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

○北朝鮮共産黨の侵入

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

三、九月五日、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。其の侵入は、北朝鮮共産黨の侵入を著す。

北朝鮮人民委員會外務局

一、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

○北朝鮮人民委員會外務局の発表

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

○北朝鮮人民委員會外務局の発表

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

○北朝鮮人民委員會外務局の発表

三、九月五日、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。其の発表は、北朝鮮人民委員會外務局の発表。

○北朝鮮人民委員會外務局の発表

北平の北平中央軍の不法射撃

一九四七年三月十三日、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

北朝鮮人民委員省事務局

一九四七年三月十三日午後一時、漢口駐在の北平中央軍の不法射撃は、朝鮮人婦人の射撃に

各部別不法行為統計表 1947.5.7日

部名	不法越境	不法渡航	不法越境及探	承認領案	備考
江島郡	六	二		一	我領地人民先佔 生毛先佔 物品奪去
楚山郡	一	(生毛先佔 不法渡航等)			
渭原郡	一	四			我領地人民先佔
朔州郡				一	
義州郡		一九	二		我領地人民先佔 物品奪去
龍川郡	一	一	五		我領地人民先佔 物品奪去 二回
計	九	二二	七	二	

北朝鮮人民委員會事務局

SHIPPING ADVICE # 2006
 DATE 11/20/81
 ITEM # 36

Batch No. 109
 Item No. 11

113 11